



浦幌町と友好の町絆協定締結
(岩手県)

洋野町だより



「裂き織り」を体験する児童

複合施設おおのキャンパス②

二人一芸の「里づくり」の拠点として始まった「おおのキャンパス」。モノづくりが暮らしをゆたかにするという考えのもと、多くの体験施設が整備されているほか、同施設を運営する「大野ふるさと公社」が、グリーンツーリズムを体験できる多様なプログラムを用意しています。

体験施設は、箸やキーホルダーのほか本格的な木工器を大野木工の職人が教える「木工房・木工体験室」、ろくろを使って粘土からマ

「陶芸工房」、地域に伝わる古布をひも状に裂いて織り直す「裂き織り」の工房などがあり、手づくりの良さを味わえます。

また、「耕作と工作」をテーマにした体験プログラムは、稲作体験や炭焼き体験、山歩き&山菜の収穫体験、手づくりアイス体験など全部で15のプログラムがあり、「いのちの大切さ」や「生きるちから」を楽しみながら学ぶことを目指しています。

春の全道火災予防運動

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』をスローガンに、春の全道火災予防運動が、展開されます。火災が発生しやすい時季を迎え、火災予防思想の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的に実施します。

☆運動期間 平成27年4月20日(月)から30日(木)まで

☆強調期間 平成27年4月26日(日)から30日(木)まで
(期間中～午後9時から20秒間サイレンを吹鳴します)

☆一般住宅立入検査 消防団員による立入検査を行います。

☆住民指導 各団体で防火映画の映写、避難訓練、消火器取扱い指導等の希望がありましたらご連絡下さい。

浦幌消防署：TEL 576 - 2419

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策—

★3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

★4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

コラム ひとこと

雁風呂

書棚の引き出しに、灰色の小さな木ぎれが入っている。奥州外ヶ浜(津軽半島陸奥沿岸の古称)では、春に雁が帰ったあと、海岸の木片を拾い風呂をたて、雁の供養をする習わしがあった。雁は秋に渡ってくる時、海上で羽を休めるために木片をくわえて帰る。春にその木片を拾って帰ったり、疲弊(ひへい)して帰られなかった雁のもの。村人はそれを拾い雁の供養として風呂を焚くのだ。

十勝太の海岸で、波にもまれ日にさらされた木ぎれを拾ったのは三十年余の昔、私に「雁風呂」の伝説が潜んでいたからだ。戦後の日本は大きな変動が何度もやってきて、指一本で押せば浸れる現代の風呂に、人びとは雁が残した埋もれ木を忘れた。年月語りつがれてきた雁風呂や雁供養の言葉は、仏の国日本の、人間の心が刻みこまれているように思えるのだが…。

浪騒ぐ海上を、雁が帰る時節になった。

(高橋悦子)